



# JFRL 情報宅配

## \* 今月のトピックス \*

### [化粧品における PFAS 規制の動向]

PFAS (有機フッ素化合物) とは

PFAS とはペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物の総称で、1 万種以上の物質が存在します。撥水・撥油性等の独特な化学特性を持ち、様々な用途で使用されてきました。しかし、自然界で分解されにくく環境中に蓄積されやすいため、世界中に広く残留していることが問題視されています。※

### 国際的な規制強化の動向

欧州連合 (EU) および米国においては、発がん性や発達への悪影響、免疫系への影響といった生態系リスクに対する強い懸念から、食品や飲料水に対し既に厳格な基準値が設けられています。さらに現在、その対象は化粧品分野にも広がりを見せています。

- ニュージーランド・フランス：2026 年以降 PFAS を含む化粧品の製造、輸出入および市場投入を禁止すると発表
- EU：化粧品を含む多岐にわたる消費財での使用禁止を提案する準備が進行中
- 米国：カリフォルニア州などの一部の州では 2025 年以降化粧品への使用を禁止する法律を制定  
FDA は化粧品における PFAS の使用と関連リスクに関する報告書を 2025 年 12 月に公表

これら一連の潮流は、PFAS のリスクへの関心・注目が高まっていることを物語っており、国際的には迅速な対応が求められています。規制を進めると同時に、PFAS は末端の官能基や炭素鎖長の違いによって多数の化合物が存在し、特性や挙動が異なるため、多種の PFAS を同時分析できる手法の確立が求められています。

### 当財団の分析サービスについて

化粧品における PFAS 規制は急速に拡大しており、海外輸出を行う企業はもちろん、国内流通においてもこうした動向をいち早く捉えて準備を進めておくことは、品質管理の質を高めることにも寄与します。また、意図的な配合だけでなく、原料や容器からの予期せぬ移行・混入リスクを把握することも重要です。当財団では、製品 (化粧水、日焼け止めクリーム、口紅など) だけでなく、原料の PFAS 分析も受託しております。お客様の状況に合わせて、以下のプランをご提案いたします。

- ◆ 主要な対象成分をスピーディに確認したいお客様へ  
⇒ 「PFAS 4 成分セット分析」 (PFOS・PFOA・PFHxS・PFNA)
- ◆ 今後の規制拡大を見据え、自社製品の網羅的なリスクアセスメントを実施したいお客様へ  
⇒ 「PFAS 30 成分一斉分析」 (ISO21675:2019 に準拠した 30 成分)

分析のご依頼や詳細につきましては、ぜひお気軽にお問い合わせください。

※PFAS の基礎情報や食品・飲料の分析に関する情報は、これまでの情報宅配 [第 243 号](#)、[第 245 号](#)、[第 261 号](#) および [第 271 号](#) をご参照ください。



◎来月のトピックスは「ハラールについての情報提供」を予定しています。  
(緊急ご案内がある場合、トピックスは予告から変更の場合がございます。)

※行政情報※

\* 内閣官房 \* (<https://www.cas.go.jp/index.html>)

1. 中東情勢に関する対応 (令和 8 年 5 月 12 日更新 内閣官房 副長官補室)

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/chyutoujyousei/index.html>

\* 農林水産省 \* (<https://www.maff.go.jp/>)

1. 農林水産物・食品輸出支援策ガイド (令和 8 年 4 月 輸出・国際局輸出支援課)

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/yusyutsugaido.html>

2. 米に関するマンスリーレポート (令和 8 年 4 月号) の公表について (令和 8 年 4 月 17 日 農産政策部企画課)

[https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260417\\_1.html](https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260417_1.html)

3. みどりの食料システム戦略の実現に貢献する技術を紹介! (令和 8 年 4 月 28 日 大臣官房政策課技術政策室)

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo03/260428.html>

\* 厚生労働省 \* (<https://www.mhlw.go.jp>)

1. 第 10 回厚生科学審議会食品衛生監視部会 配付資料 (令和 8 年 5 月 14 日 健康・生活衛生局食品監視安全課)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_72941.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_72941.html)

2. 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行令の一部を改正する政令」が閣議決定されました (令和 8 年 5 月 19 日 医薬局 医薬品審査管理課 化学物質安全対策室)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_72960.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_72960.html)

\* 消費者庁 \* (<https://www.caa.go.jp/>)

1. 外食・中食における食物アレルギーの情報提供に関する実態調査報告書の掲載について (2026 年 5 月 1 日 食品表示課)

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/information/research/2025/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2025/)

\* 農林水産消費安全技術センター \* (<https://www.famic.go.jp/>)

1. 令和 8 年度飼料等の適正製造規範 (GMP) 研修会について掲載しました。(2026 年 4 月 27 日 肥飼料安全検査部)

[https://www.famic.go.jp/ffis/feed/sub2\\_kenshu.html](https://www.famic.go.jp/ffis/feed/sub2_kenshu.html)

2. 肥料技能試験の申込受付を開始しました。(2026 年 4 月 6 日 肥飼料安全検査部)

<https://www.famic.go.jp/ffis/fert/sub12.html>

☆お知らせ☆

【西日本食品産業創造展' 26 に出展します】 <https://www.nikkanseibu-eve.com/food/>

日程: 2026 年 5 月 20 日~22 日

会場: マリンメッセ福岡 A 館・B 館 ブース No. AW-17 (A 館)

セミナー情報: 5 月 22 日 (金) 11:15~11:45 『海外の栄養成分表示について』 (聴講無料)

【ifia/HFE Japan 2026 に出展します】 <https://www.ifiajapan.com/>

日程: 2026 年 5 月 27 日~29 日

会場: 東京ビッグサイト (西ホール) ブース No. 2L17

個別相談会・講演情報: <https://www.jfrr.or.jp/storage/file/ifia%20HFE%20Japan2026.pdf>

【大阪にて講演会を開催します】

2026 年 6 月 11 日 (木) 大阪産業創造館 (大阪市中央区) 4F イベントホール

テーマ ① 栄養成分分析の基礎知識 ② 微生物及び微生物制御の基礎知識

詳しくは <https://www.jfrr.or.jp/information/2627> をご覧ください。

【JFRLニュースを発行しました】

8-10 かび毒(マイコトキシン)規制の最新動向: 日本と EU の比較

[https://www.jfrr.or.jp/storage/file/news\\_vol8\\_no10.pdf](https://www.jfrr.or.jp/storage/file/news_vol8_no10.pdf)

